

教職課程の情報公表項目

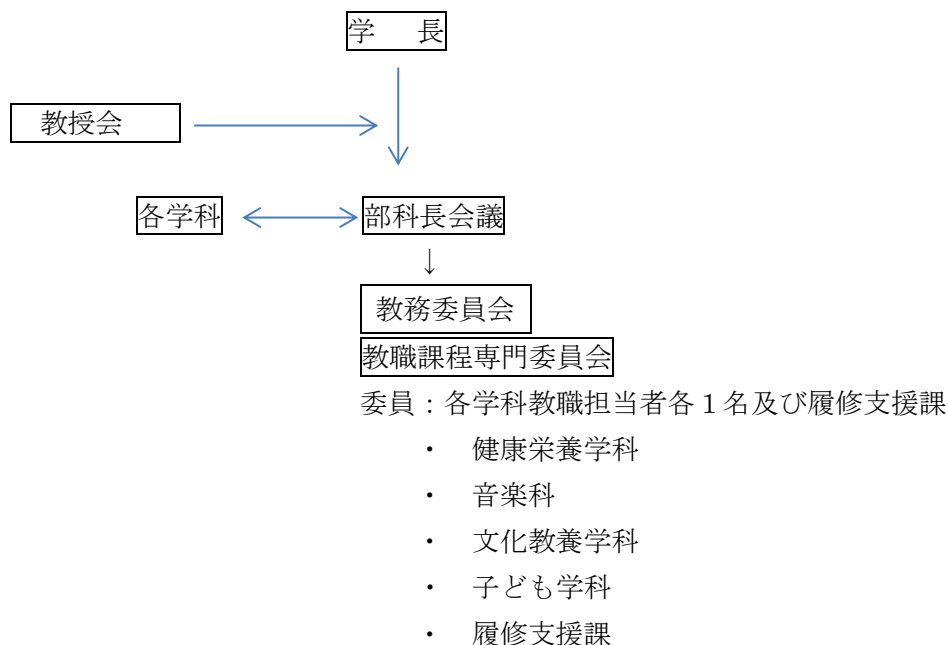
1 教員養成の目標及び当該目標の達成計画

本学においては、健康栄養学科は栄養教諭、音楽科及び文化教養学科は中学校教諭（音楽科・国語科教諭）、子ども学科は幼稚園教諭の養成に取り組んでいる。本学の教員養成は、各学科において幅広い教養及び専門的な知識・技能を向上させ、教職課程において教員に求められる専門的な知識、技能及び豊かな人間性の育成を目指している。

学生の育成の視点

- (1) 社会人としての生き方を学ぶ「社会人入門」「キャリアプログラム」「基礎教養科目」等の学習を通して、教員に求められる幅広い教養を身に付ける。
- (2) 各学科の専門科目の学習を通して、各教科等の担当教員として求められる専門的な知識・技能の向上に努める。
- (3) 本学でのサークル活動やボランティア活動、地域社会との連携を図る取組を積極的に勧め多様な人とかかわりを通して、幅広い人間性を確立する。
- (4) 教職課程の学習では以下の二点を重視する。
 - ① 教員として求められる専門的な知識・授業技術、幼児・児童生徒の心の理解等を通して、教育者としての使命感、教員を目指す強い意欲を育てる。
 - ② 学校や社会における多くの課題を理解し、解決しようとするための知識・技能・態度等の育成に努める。

2 教員養成のための組織及び教員の数（教員の業績を含む）



※ 教員の業績については、本学ホームページから教育情報の公表 ⇒ 教員が有する学位及び業績に掲載しています。

3 教員養成に係る授業科目（方法・内容及び授業計画）

＜中学校教諭二種免許＞

＜栄養教諭二種免許＞

＜幼稚園教諭二種免許＞

授業科目等の詳細については、本学ホームページから教育情報の公表⇒本学において取得できる免許資格に掲載しています。

また、授業内容・授業計画等については、同ホームページの講義要項（シラバス）を参照ください。

4 免許取得状況（過去5年間）

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	合計
中二種国語	3	4	7	7	3	24
中二種音楽	14	8	16	8	10	56
栄養教諭二種	6	5	5	7	4	27
幼稚園二種	46	49	41	33	39	208
合計	69	66	69	55	56	315

5 教員への採用状況（過去5年間）

（2024年4月1日現在）

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	合計
中二種国語	教諭	0	1	2	2	2	7
	講師	0	0	0	0	0	0
中二種音楽	教諭	0	4	6	5	1	16
	講師	1	3	0	0	3	7
栄養教諭二種	教諭	0	0	0	0	0	0
	講師	0	0	0	0	0	0
幼稚園二種	教諭	11 (3)	14 (6)	11 (1)	13 (3)	15 (6)	64
	講師	1 (1)	0	0	0	0	1
合計		13	22	19	20	21	95

※中二種音楽は科目等、専攻科を含む。幼稚園二種の（ ）は保育教諭で内数。

6 教員養成に係る教育の質の向上に係る取り組み

(1) 授業改善

① 学生による授業アンケートの実施

前期及び後期の講義終了時に「授業評価アンケート」を実施する。その内容について、公開する。アンケート結果をもとに、それぞれの教員が授業改善を行っている。

② 授業公開・授業参観の実施

前期及び後期に公開授業・授業参観週間を設定して、授業公開を実施する。参観者は、授業評価コメントを授業者に提示し、授業者は参観者の授業評価コメントを元に、自らの授業について改善を図るようにしている。

(2) 施設設備の改善

- 保育実習室等をリニューアルし、幼児教育が実践的に学べる教育環境を整備している。
- 給食管理実習室等をリニューアルし、栄養教諭としての業務を実践的に学べる環境整備を行っている。
- 音楽科・国語科指導が実践的に学べるよう中学校の教室に準ずる環境整備を行っている。

.....

1 福岡女子短期大学の教育・設置理念

本学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、高い教養と専門的知識、技能を授け、真理と正義に基づく人格教育を基盤として、個人の尊厳及び勤労と責任の尊重を体得した健全な社会人を育成することを目的とする。

本学は昭和41年開学以来、建学の精神「強く・正しく・優しく」のもとに、女子学生の可能性を伸ばす教育を行い、「知・情・意」のバランスよく整った女性の育成を目指している。

そのため、本学において全教育活動を通して、現代社会によりよく生きるための「知識・教養・生活技能」、夢や目標に向かう「強い意志」、他者を思いやる「優しい心」を育成している。

また、本学は地域との連携について「太宰府地域学」の導入や地域の方々に対する公開講座を通し、地域社会へ貢献する取組を行っている。

2 教員養成に対する理念・構想

(1) 大学

建学の精神及び本学の教育観に基づき、本学の教員養成の理念は、「児童生徒への深い教育的愛情を有する教師」「知識や教養を自ら向上させようとする教師」「教科・生徒指導等に対する実践的指導力の基礎・基本を有する教師」の育成としている。

本理念のもと本学の伝統を重視しつつ時代の変化やニーズを踏まえて、社会・学校から求められる教師の育成を目指すように取り組む。

(2) 各学科の教員養成の理念

① 健康栄養学科（栄養教諭二種免）の教員養成に対する理念

健康栄養学科は、健康と栄養に関する専門性と教育に関する資質を併せ持った教育職員として、その専門性を十分に発揮して、学校給食の管理と共に食に関する指導の充実が図れる人材の育成を目指す。

② 音楽科（中学校二種免（音楽））の教員養成に対する理念

音楽科は、学生が音楽に対して、向上心を持ち続けることができるよう音楽の理論と実技の基本を大事にした指導を行うことを重視している。そのことに基づき、体系的、実践的に教育を行い、常に問題意識を持って教育的実践を行うことができる人材の育成を目指す。

③ 文化教養学科（中学校二種免（国語））の教員養成に対する理念

文化教養学科は、日本文学・日本語学等を学び、国語教育に関する幅広い教養を身につけることを重視している。そのうえで、教員として求められる豊かな人間性を有する人材の育成を目指す。同時に、本学科の特徴を踏まえ、司書教諭の育成にも力を入れる。

④ 子ども学科（幼稚園二種免）の教員養成に対する理念

子ども学科は、人間の基礎・基盤となる幼児期の重要性を踏まえ、幼児教育に関する専門的知識・技能および幼児への深い理解を身につけること重視している。その上で、幼稚園教諭として求められる「明るさ、温かさ、そして受容力」のある人材の育成を目指す。

(3) 認定を受けようとする課程の設置趣旨（学科ごと）

① 健康栄養学科

社会人としての常識・教養と食から健康を支える専門家としての知識・技能・態度を身につけ、児童生徒の健康的な食生活づくりを支援する教育活動は健康教育の一環として重要な役割を担っているものである。

② 音楽科

本学建学の精神と教育理念の基、本学で設定されている全学科統合された授業形態と音楽科単独での専門教育課程の学修成果は、教員に求められる多様な資質能力を身につけることに資している。このことは、学校の教員組織において教育活動を展開していく際に、常に向上心を持ちつつ自己の能力を発揮するものとして生かされる。このような教育課程全体を通じて力を身につけた人材を、地域社会に輩出することに、本学音楽科に教職課程を設置する意義がある。

③ 文化教養学科

本学の教育理念のもと、本学科では日本文化を深く理解し社会貢献できる人材育成を行っている。学科に教職課程を設置することにより、日本文学・日本語学等を通して国語科教育の専門性を育成すると同時に、教員に求められる人間への深い理解と信頼感を有する人間性の育成に資することができる。

④ 子ども学科

本学の建学の精神及び教員養成の理念のもと、学生が就学前における幼児期の教育を深く理解し、その結果として幼稚園教諭として社会に貢献できる人材の育成を行う。幼児期の教育の特徴である子どもの自由な遊びは、心身の成長・発達の調和のとれた重要な学習であることから、領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）による教育を重視して実践する。

3 教育課程の運営に係る全学的組織の状況

組織名称： 教職課程専門委員会

目 的： 教職課程業務の円滑な遂行

- ・ 教職科目履修に関する指導
- ・ 教育実習への指導
- ・ 教員採用試験に関する指導

責 任 者： 教職課程専門委員長

構 成 員： 音楽科教職担当者、文化教養学科教職担当者、食物栄養科教職担当者、子ども学科教職担当者、履修支援課長及び履修支援課教職担当者

運営方法： 定例会議（毎月開始）

- 新年度の方針及び年間計画の確認
- 年のまとめと次年度への改善点の確認
- 教職課程履修希望学生への説明会について
- 教育実習説明会について

- 前期の取組のまとめと後期について
- 教育実習報告会について
- 本年度の成果と課題について

4 都道府県及び市区町村教育委員会、学校、地域社会等との連携、協力に関する取組

(1) 教育委員会との現場の意見聴取等

① 福岡県大学・短期大学等教育実習・介護等体験連絡協議会

教職課程を置く県内の大学、短期大学等が教育実習・介護等体験が円滑かつ適正に実施するため、必要な事項を協議する。教育実習・介護等体験の反省及び意見交換や、必要に応じて関係機関及び関係団体との連絡調整を行う。

② 北九州地区大学教育実習連絡協議会

北九州地区における教育実習を円滑に実施し、関係各大学における教育実習を効果的に発展向上させるために連絡協議するものである。関係当局（教育委員会及び校長会）との連絡調整、関係当局と関係大学との教育実習の反省及び意見交換、各大学の連帯・研修を行う。

③ 福岡県幼稚園教諭・保育士就職問題連絡協議会

福岡県下の幼稚園教諭養成校及び保育士養成施設における社会的使命に立脚し、相互の緊密な協力により、学生の就職及び採用業務の円滑化やその他の幼保系就職問題の解決を図ることを目的としている。

(2) 学校現場における体験活動・ボランティア活動等

○ 太宰府特別支援学校ボランティア

連携先との調整方法： 教職課程委員長が窓口となり、本学学生の希望日と太宰府特別支援学校の講座日の調整を行う。

具体的な内容： 本学学生のために太宰府特別支援学校がボランティア講座の内容を検討して実施。

講座受講後、学生が太宰府特別支援学校の時間と調整してボランティア活動に取り組む。

5 教職指導の状況

(1) 教育実習内諾説明会（1年生前期終了時）

- ・ 教職をめざす意味についての指導
- ・ 教育実習内諾のための手続きの説明
- ・ 夏季休業期間中の課題提示

(2) 教育実習事前説明会（1年次後期終了時）

- ・ 教育実習校の確認
- ・ 年度末休業期間中の課題提示
- ・ 各校で使用されている教科書の準備
- ・ 専門科目の指導案の作成の準備
- ・ 履修カルテの準備

(3) 事前事後学習（2年生前期から）

- ・ 教育実習の基本的な指導

- ・ 模擬授業と指導案作成
 - ・ 教育実習後のまとめ、実習校へのお礼状
- (4) 教育実習
- ・ 実習校訪問の実施： 実習期間中に担当教員が実習校を訪問、校長等管理職へのお礼と実習担当教員から実習状況の聞き取りを行い、指導助言を行う。
- (5) 教育実践演習での指導
- ・ 実際に学校で指導実践している教員の講話を聞く
 - ・ 本学卒業生で教員をしている先輩の授業及び講話に学ぶ機会を設ける
 - ・ 学科を超えて授業交流を実施し、指導案と実際の授業に学ぶ機会を設ける
 - ・ 教職の学習をしたことを踏まえて自己の生き方について考える機会を設定する